



独立行政法人 理化学研究所 仁科加速器研究センター  
第10回月例コロキウム

RIKEN Nishina Center for Accelerator Based Science  
The 10th Monthly Colloquium

## K中間子を鍵として展開する物理 ～KEK-PS から J-PARC まで～

岩崎 雅彦氏(先端中間子研究室)

Masahiko Iwasaki (Advanced Meson Science Laboratory)

### *Abstract*

我々はK中間子と原子核との相互作用を色々な角度から実験的に研究してきた。それは、KEK-PSでのK中間子と水素（陽子）のアトミックな状態の研究に始まり、GSIでの $\pi$ 中間子の重い原子核でのアトミックな状態の生成に成功したことを経て、再びKEK-PSで原子核中へK中間子を埋め込もうという研究に繋がった。そこで観測された状態が真実であるなら、南部の提唱に始まるクォーク・反クォーク対の真空中での凝縮と言う、ハドロン質量の起源に迫る研究や、中性子星や通常の原子核密度を超える状態の研究が可能になると考えられる。J-PARCで今後どのように研究を展開しようとしているかを含め、これら全体を概観したい。

*The Colloquium will be given in Japanese*

Apr 18 (Tue), 2006 13:30-  
Nishina Hall

Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer  
[seminar@rarf.riken.jp](mailto:seminar@rarf.riken.jp)  
<http://rarfaxp.riken.jp/~seminar>